

地元産農産物で作った喜多方ラーメンは高く売れる

福島県農業総合センター企画経営部
平成19年度農業総合センター試験成績概要

1 部門名

農業経済 - 農業経済 - 市場対応
分類コード 14-01-56000000

2 担当者

藤澤弥榮・荒川市郎

3 要旨

素材全てを喜多方市内で生産された農産物を利用して作ったラーメン「99.9%地元産、究極の喜多方ラーメン」は、通常の「喜多方ラーメン」に比較し、150～200円程度高値販売が期待できる。

- (1) PSM (Price Sensitivity Measurement) 分析を用いて分析した結果、「究極の喜多方ラーメン」に対する消費者の支払い意思額の上限は690円であるが、他の地域から訪れる旅行者だけに限定すると750円となった。
- (2) 会津地域に居住する住民は、「高いと感じはじめる価格」、「高すぎて注文しない価格」とも最も低く、喜多方ラーメンは「最寄品」の範疇を越えることは難しい。「究極の喜多方ラーメン」の客層としては不向きである。
- (3) 会津地域外に居住している住民(旅行者)は「高いと感じはじめる価格」、「高すぎて注文しない価格」とも高く、「究極の喜多方ラーメン」のターゲットとして有力である。
- (4) ラーメンの価格設定に関しては、百円の桁が増える際に「高すぎて注文しない」という比率が急激に上昇する。このため、価格設定の際には百円の桁を変えず十円の桁を「8」や「9」という数字に抑えることが重要である。

4 その他の資料等

なし